

エコアクション21 環境経営レポート



期間 : 2023年 1月 ~ 2023年 12月

発行日 : 2024年 3月 30日



総合建設コンサルタント 測量・設計・補償・地質調査

株式会社 坂本建設コンサルタント

ごあいさつ

弊社は社会資本整備の企画・調査・測量・設計・監理などを担う総合技術者の集団として、昭和38年山口県岩国市錦町に誕生しました。本業だった測量業より多角化に着手以来、山口県東部地区を中心に総合建設コンサルタントとして歩んできました。

現代の経済・社会環境は、20世紀後半の高度成長時代から大きく変化しています。こうしたなかで私たちの生活に本当に必要な社会資本は何かを考え、良質で安全・安心な環境を適正な価格で整備すること、さらには地球環境に配慮した社会資本を考えていくこと、これらのことが重要な課題となっていると考えております。

社員が25名程の地方の企業ですが、技術が優れているだけではなく、強い使命感と高い倫理観をもつ人格的にも優れた技術集団でなければならないと考えています。専門技術を提供するだけではなく、発注者と地域の人々の立場に立って未来を見据え、考え、行動を起こし、真に社会に役立つ技術集団となるようたゆまぬ研鑽を続けていく所存です。

今後共皆様方のより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役

石崎 智之

目次

□ 会社概要	1
□ 事業内容	2
□ 環境経営方針	3
□ 実施体制	4
□ 役割・責任・権限	5
□ 環境経営目標	6
□ 中長期環境経営目標	7
□ 取組み内容・結果及び評価	
1. 二酸化炭素総排出量の削減	8
1-1. 電力使用量の削減	9
1-2. ガソリン使用量の削減	10
2. 廃棄物削減の促進(コピー用紙廃棄量)	13
3. 水使用量の削減	14
4. 環境配慮と啓発活動の促進(会社周辺の清掃及び環境保全活動)	15
その他(1) グリーンカーテンの実施	16
その他(2) 女性社員の産育休暇制度	21
その他(3) 資格取得制度	21
その他(4) 社内教育の実施	22
□ 環境活動計画、取組み状況及び評価	23
□ 環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟の有無	24
□ 代表取締役による評価と見直し	25

会社概要

会社名	株式会社 坂本建設コンサルタント		
代表者	石崎 智之		
設立	1990年1月（創業 1963年8月）		
所在地 適用範囲	本社	〒741-0063 山口県岩国市関戸1017番地4	
		TEL : (0827) 28-6005	Fax : (0827) 28-6007
		E-mail : saka@triton.ocn.ne.jp	
		HP : https://sakamoto-kc.com	
環境管理責任者	石坂・沖本	担当者	石坂・沖本
事業登録	建設コンサルタント	施工計画、施工設備及び積算部門	建01 第8212号
		河川、砂防及び海岸、海洋部門	
		鋼構造及びコンクリート部門	
		下水道部門	
		農業土木部門	
		道路部門	
	測量業	登録 第(7) - 18835号	
	地質調査業	質 01 第2216号	
補償コンサルタント	土地調査部門	補 05 第4734号	
	物件部門		
一般建設業	土木工事業	山口県知事許可（般 - 5） 第20169号	
	石工事業		
	舗装工事業		
	水道施設工事業		
	とび、土工工事業		
	鋼構造物工事業		
	しゅんせつ工事業		
事業規模	資本金 : 1,000万円		
	売上高 : 4.3億円（34期実績 2023年1月 ~ 2023年12月）		
	従業員数 : 25名		
	延べ床面積 : 596.17m ²		
事業期間	1月~12月		

事業内容

☆ 主な事業内容 ☆

◎ 公共事業に関する測量業務

- 基準点測量
- 地形測量
- 応用測量
- 河川測量
- 用地測量



◎ 公共事業に関する設計業務

- 道路、河川設計
- 橋梁設計
- 砂防施設設計
- 公共上下水道設計
- 歩道、交差点設計
- 公園、造成設計
- 農業土木設計



◎ 公共事業に関する地質調査業務

- 地質、土質調査
- ボーリング調査
- 地下水調査、試験
- 水文調査



◎ 公共事業に関する調査業務

- 交通量調査
- 道路付属物点検
- 橋梁点検
- 治山施設点検調査
- 地すべり施設点検

◎ 公共事業に関する補償業務

- 土地調査
- 物件調査
- 土地評価
- 補償関連業務



環境経営方針

★ 基本理念

弊社は、地球環境の改善が重要であることを認識し、建設コンサルタントとしての事業活動を通じて、環境に配慮した活動を行うことにより、影響の軽減と自然との共生を進め社会づくりに貢献します。

この活動を効率的に行うために、環境経営システムを構築・運用し、以下の行動指針を以って環境経営の改善を継続的に進めていきます。

★ 行動指針

1. 法的規制等の遵守

環境関連法規等を遵守するとともに、環境負荷の低減及び環境汚染の防止に取り組めます。

2. 温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の削減

節電を行うとともに、ガソリン使用量の削減による温室効果ガスの排出削減に努めます。

3. 廃棄物削減の促進

廃棄物の減量化、再利用を促進し排出量の削減に努めます。

4. 水使用量の削減

節水に努め水使用量の低減に努めます。

5. 環境配慮と啓発活動の促進

環境教育と啓発活動を行う事により、社員全員に本方針を周知し、社員の意識向上を図ります。

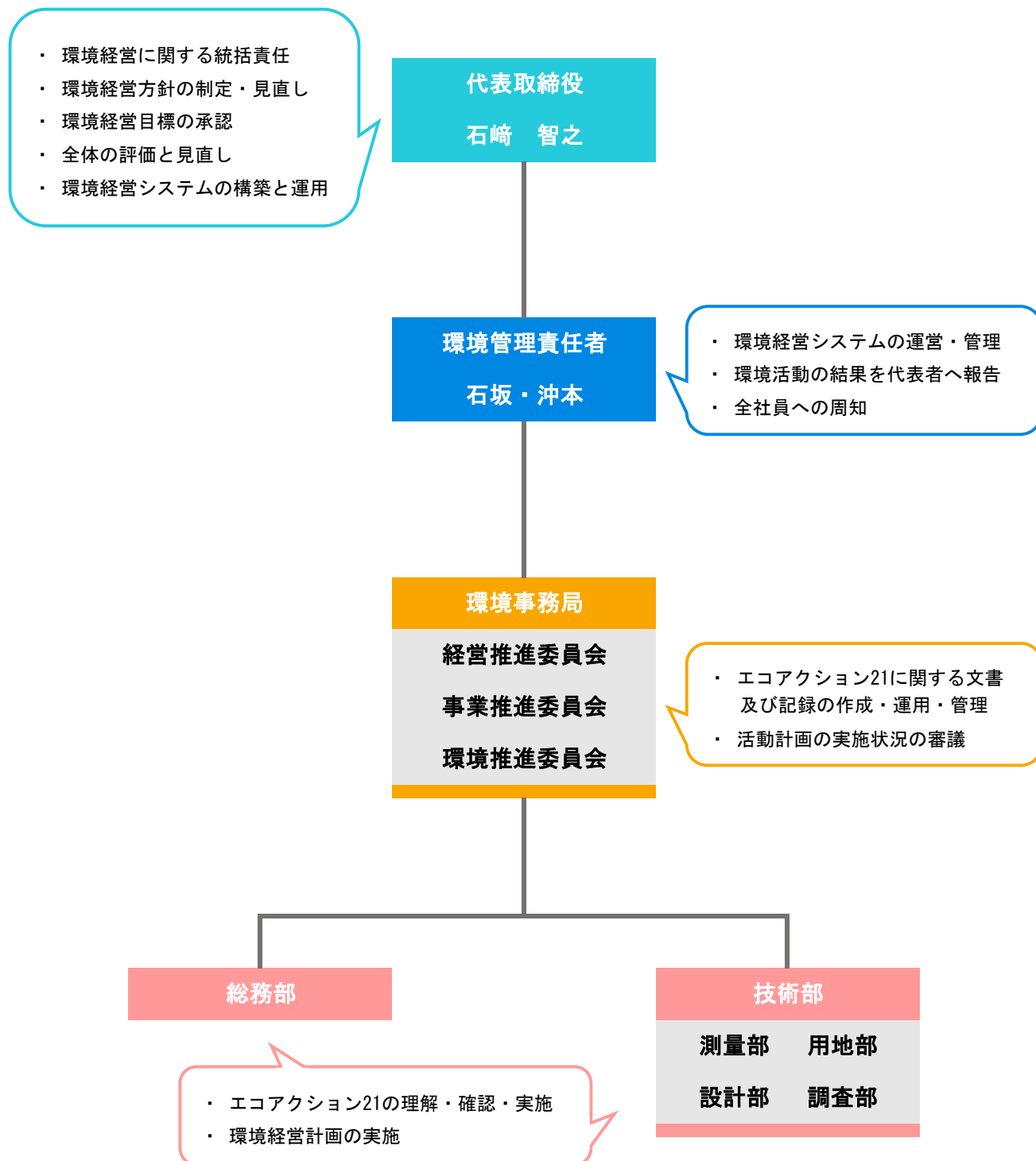
この成果として、顧客に対しては事業活動で得た環境保全に有用な情報を提供し、地域の環境活動に努めます。

2019年9月2日 制定

株式会社 坂本建設コンサルタント
代表取締役 石崎 智之

実施体制

2022年3月1日 改定



役割・責任・権限

代表取締役

1. 環境経営に関する統括責任
2. 環境経営方針（基本理念・行動指針）の制定・見直し
3. 環境管理責任者・環境事務局の任命
4. 環境経営目標の承認
5. 環境経営システムに必要な設備・費用等の資源準備
6. 代表取締役による全体の評価と見直しの実施
7. 経営における課題とチャンスの明確化
8. 取組みの対象組織・活動の明確化

環境管理責任者

1. 環境事務局の運営
2. 環境経営システムの運営・管理
3. 環境活動の取組み結果を代表取締役へ報告
4. 環境経営方針を全社員に周知する
5. 環境経営レポートを毎年3月に作成
6. 教育・訓練を毎年5月に実施

環境事務局




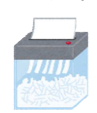


1. 環境経営目標の実施及び報告
2. 環境管理責任者の補佐
3. 環境経営目標の運用・管理
4. 環境関連法規の遵守状況のチェック及び情報収集
5. フロー図及び災害対応手順書の作成
6. 環境負荷・取組みの自己チェック

全社員

1. 環境方針の確認・理解
2. 環境関連法規遵守
3. 責任者及び各部門の指示に従うと共に協力する
4. エコアクション21や環境活動で気付いた事があれば改善点を提案する

環境経営目標

評価日：2024年1月4日




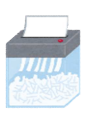


当期環境経営目標						
環境目標と実績	単位	令和4年 2022年	令和5年 2023年	令和5年 2023年		
		基準値	目標	実績	達成率	評価
1. 二酸化炭素総排出量の削減 	kg-CO2	36,299	35,936	37,317	96%	×
1-1. 電力使用量の削減 	kWh	27,455	27,180	25,887	105%	🌸
1-2. ガソリン使用量の削減 	ℓ	7,427	7,353	8,334	88%	×
2. 廃棄物削減の促進 (コピー用紙廃棄量) 	kg	379	375	457	82%	×
3. 水使用量の削減 	m3	109	107	114	94%	×
4. 環境配慮と啓発活動の促進 (会社周辺の清掃及び環境保全活動) 	実施回数	3回	年1回以上	3回	100%	🌸

(注意)

- ※ 電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力：0.694kg-CO2/kWh(平成28年度・調整後排出係数)を適用しました。
- ※ ガソリンの二酸化炭素排出係数は、特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(経済産業省・環境省)：2.322kg-CO2/lを適用しました。
- ※ 化学物質使用量は当社において使用がないため、化学物質使用量削減の目標に掲げません。
- ※ 環境に配慮した計画・設計の推進については、発注者の方針において再生材・環境保全ブロック等の使用が原則となっているため、集計対象から除外しました。
- ※ グリーン購入の推進の実績については、更新審査を受けた際に当社において効果が期待できないため集計を行わないこととしました。

中長期環境経営目標

評価日：2024年1月4日

中長期環境経営目標						
環境目標と実績	単位	令和4年 2022年	令和5年 2023年	令和6年 2024年	令和7年 2025年	令和8年 2026年
		実績	基準年度	目標	目標	目標
1. 二酸化炭素総排出量の削減 	kg-CO2	36,299	37,317	-1% 36,944	-2% 36,571	-3% 36,197
1-1. 電力使用量の削減 	kWh	27,455	25,887	-1% 25,628	-2% 25,369	-3% 25,110
1-2. ガソリン使用量の削減 	ℓ	7,427	8,334	-1% 8,251	-2% 8,167	-3% 8,084
2. 廃棄物削減の促進 (コピー用紙廃棄量) 	kg	379	457	-1% 452	-2% 448	-3% 443
3. 水使用量の削減 	m3	109	114	-2% 112	-4% 109	-6% 107
4. 環境配慮と啓発活動の促進 (会社周辺の清掃及び環境保全活動) 	実施回数	3回	3回	年1回以上	年1回以上	年1回以上

(注意)

- ※ 電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力：0.694kg-CO2/kWh(平成28年度・調整後排出係数)を適用しました。
- ※ ガソリンの二酸化炭素排出係数は、特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(経済産業省・環境省)：2.322kg-CO2/lを適用しました。
- ※ 化学物質使用量は当社において使用がないため、化学物質使用量削減の目標に掲げません。
- ※ 環境に配慮した計画・設計の推進については、発注者の方針において再生材・環境保全ブロック等の使用が原則となっているため、集計対象から除外しました。
- ※ グリーン購入の推進の実績については、更新審査を受けた際に当社において効果が期待できないため集計を行わないこととしました。
- ※ 目標の数値設定は基準年度から毎年-1%の削減とします。(水使用量の削減は-2%の削減を目標とします。)

取組み内容・結果及び評価(1)

1. 二酸化炭素総排出量の削減

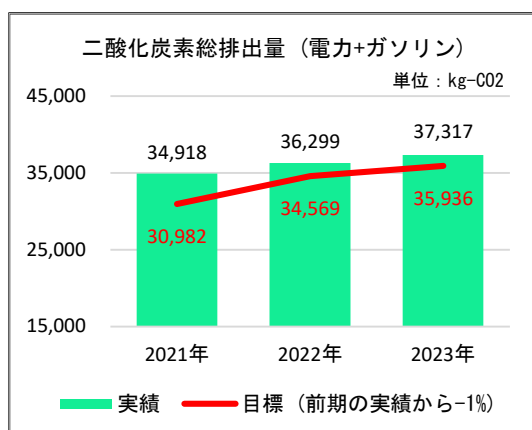
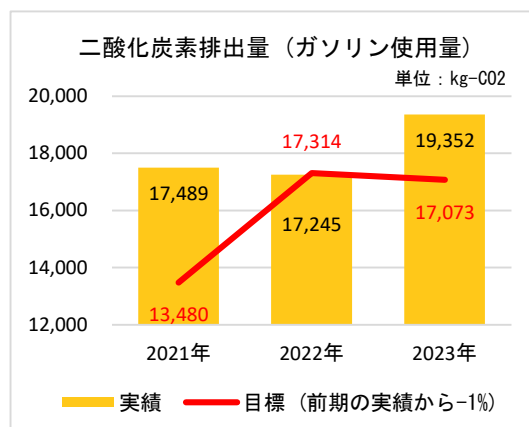
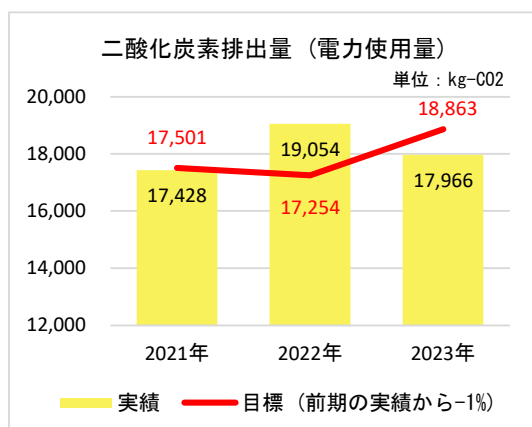
13 気候変動に
具体的な対策を



☆ 取組み内容

- 1-1. 電力使用量の削減
- 1-2. ガソリン使用量の削減

☆ 結果及び評価 / 次期の目標・取組み



二酸化炭素総排出量は電力及びガソリンの使用量から算出しています。(使用量についてはそれぞれの頁に結果を記載)

- ・ 電力使用量より算出 使用量 × 中国電力：0.694kg-CO2/kWh (平成28年度・調整後排出係数)
- ・ ガソリン使用量より算出 使用量 × 特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令 (経済産業省・環境省)：2.322kg-CO2/l

今期は前期と比べて2.8%の増加となり、目標を達成することが出来ませんでした。
電力使用量の評価などについては、1-1. 電力使用量の削減の頁に記載しています。
ガソリン使用量の評価などについては、1-2. ガソリン使用量の削減の頁に記載しています。
電力もガソリンも使用量を減らすことはなかなか難しいですが、少しでも二酸化炭素排出量が減るように取組みを継続していきます。



取組み内容・結果及び評価(2)

1-1. 電力使用量の削減



☆ 取組み内容

- ・ 休憩時間、残業時など不必要な時は消灯する。
- ・ 間引き照明の実施。
- ・ パソコン、コピー機などのOA機器の省電力設定。
- ・ 使用していない部屋の空調を停止する。
- ・ コンセントの色分け。



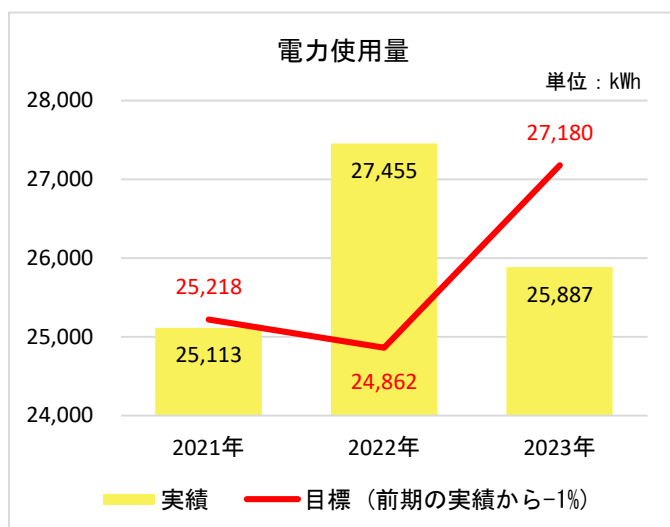
節電対策の1つとして、
コンセントの色分けを実施しています。

黒いテープが巻かれたものは
帰宅時に抜いて帰る。

赤いテープが巻かれたものは
抜いてはいけません。を意味しています。

その他にも、LED照明の活用や
人感センサー付き照明による
点けっぱなし防止などの
対策を取っています。

☆ 結果及び評価



前期より
5.7%の減少

達成

今期は前期と比べて5.7%の減少となり、目標を達成することが出来ました。

休憩時間など不必要な時の消灯や間引き照明が出来ていたことに加えて、前期よりもエアコンを目安温度(暖房：20℃、冷房：28℃)に近い状態で使用出来たこともこの結果につながったのではないかと考えます。

☆ 次期の目標・取組み

“離席時にPCモニターを消す”、“不必要なコンセントは抜く”ことを意識して取り組んでもらえるよう呼びかけを行います。



取組み内容・結果及び評価(3)

1-2. ガソリン使用量の削減



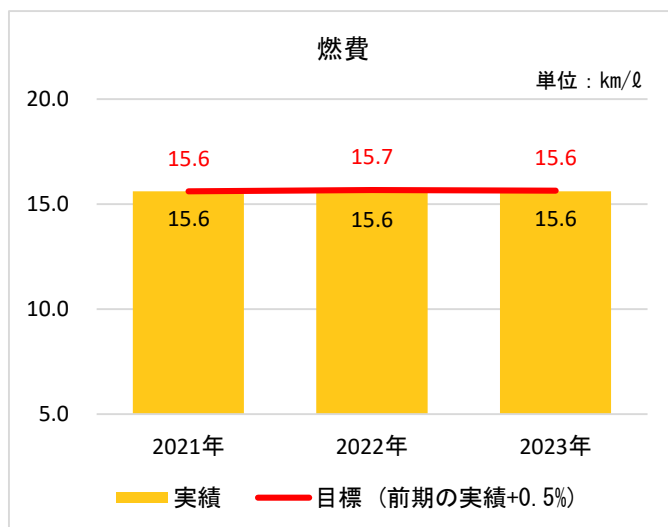
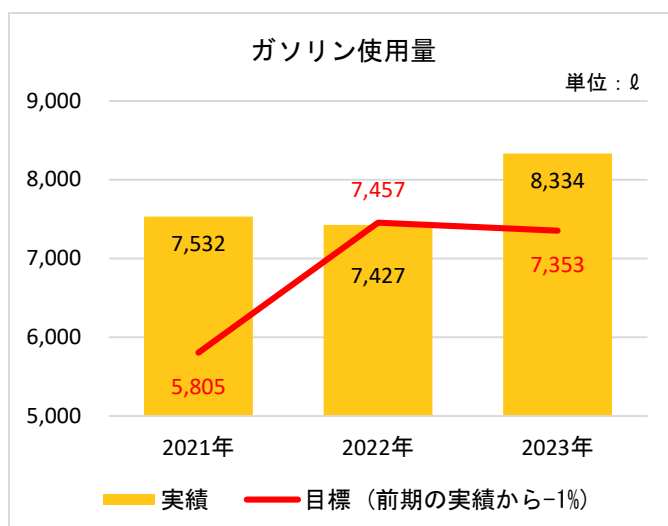
☆ 取組み内容

- ・ オイル交換 ・ 車両点検の徹底。
- ・ 適切な時期でのタイヤ交換。
- ・ ガソリン給油量の把握。
- ・ エコドライブの実施。

各車の責任者を中心にタイヤ交換を実施しています。



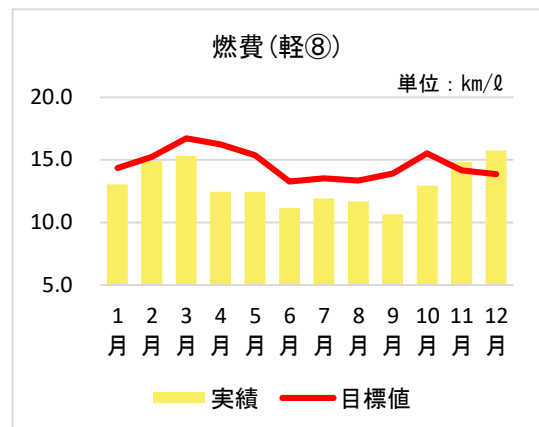
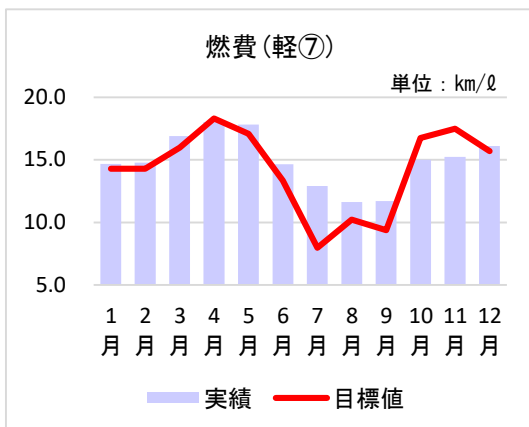
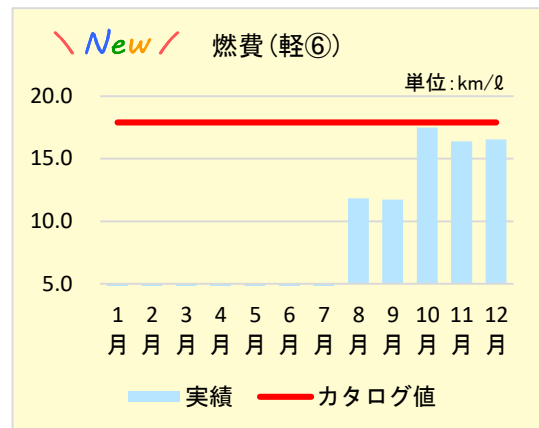
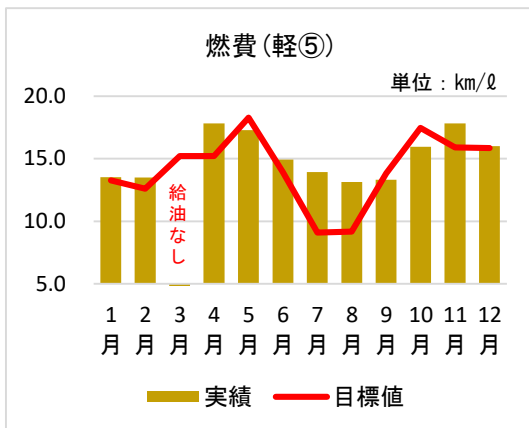
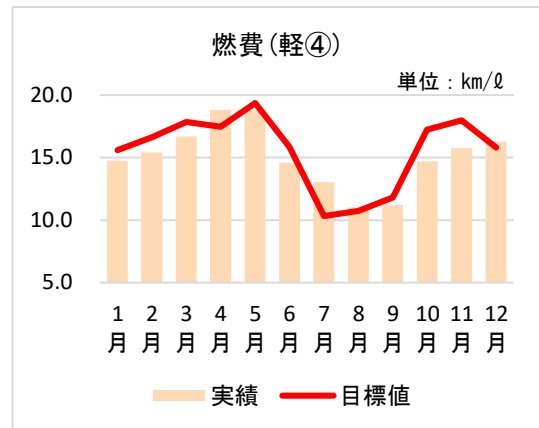
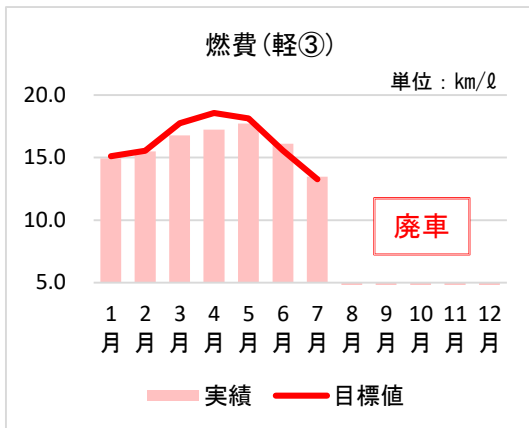
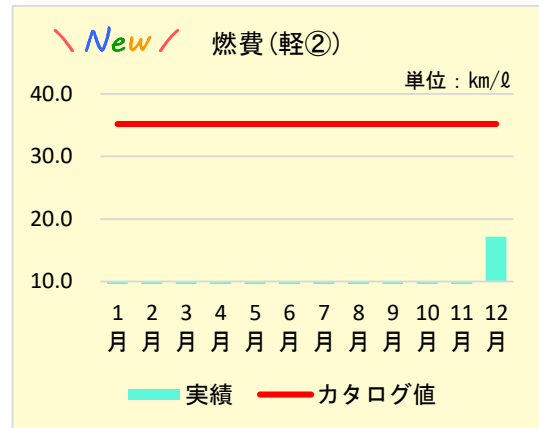
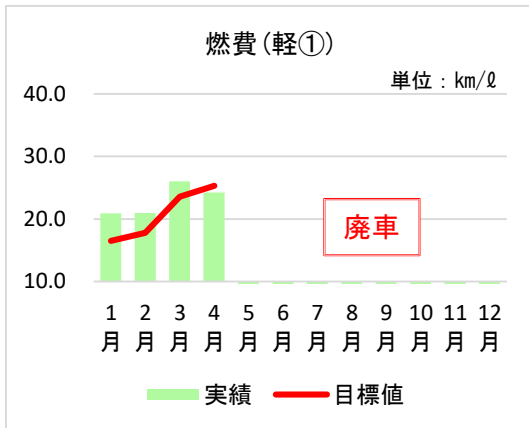
☆ 結果及び評価



ガソリン使用量は、前期と比べて12.2%の増加となり目標を達成することが出来ませんでした。燃費は、前期から変化はないものの目標を達成することが出来ました。次頁以降にその結果をグラフにしてまとめています。遠方の現場が多かったこともあり使用量は増加しましたが、燃費の目標を達成することが出来たので良かったと思います。

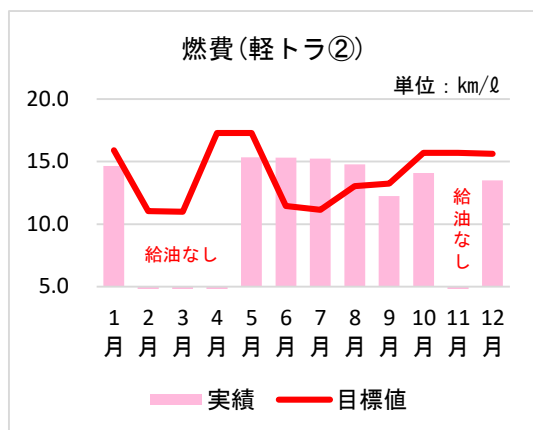
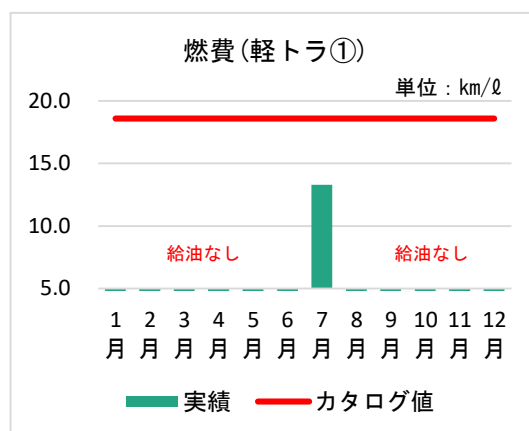
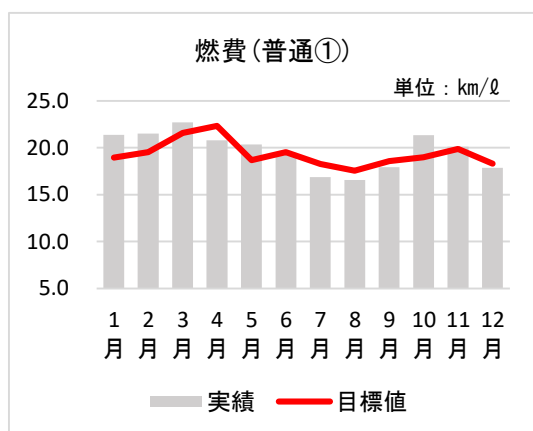
取組み内容・結果及び評価(3)

各車の燃費グラフ（2023年1月～12月）



取組み内容・結果及び評価(3)

各車の燃費グラフ(2023年1月~12月)



カタログ値

- ・軽② : 35.2km/L
- ・軽⑥ : 17.9km/L
- ・軽トラ① : 18.6km/L

軽自動車8台、普通自動車1台、軽トラック2台、計11台の車の燃費を算出し、グラフにしています。軽①・③~⑤・⑦⑧の目標値(赤線)は前期の実績値で、給油のなかった月については前の月の実績値を使用しています。軽②・⑥は新車の為、軽トラ①は前期での給油がなかった為、カタログ値を使用しています。

今期は2台の新車を購入しました。軽②はカタログ値の数値は高いものの、近場での利用が多い為此のような結果になったと思われます。軽⑥に関しては、8・9月の燃費は良くなかったですが、10月以降はカタログ値に近い数値が出ているので次期も継続していけたらと思います。軽トラ①を除くその他の車については、特にエアコンを使用する6~9月の燃費が悪くなっていた前期と比較すると改善されてきており意識して運転してもらえたのではないかと思います。

☆ 次期の目標・取組み

これまでの取組みがより定着するよう、声かけやポスターを掲示して燃費に対する意識を高めていきます。また、車を買ひ替える際にはエコカーや燃費の良い車の購入を検討します。



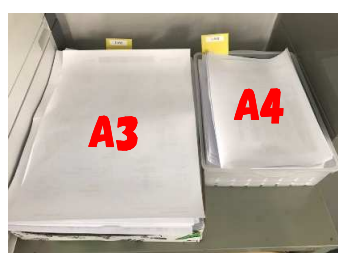
取組み内容・結果及び評価(4)

2. 廃棄物削減の促進(コピー用紙廃棄量)



☆ 取組み内容

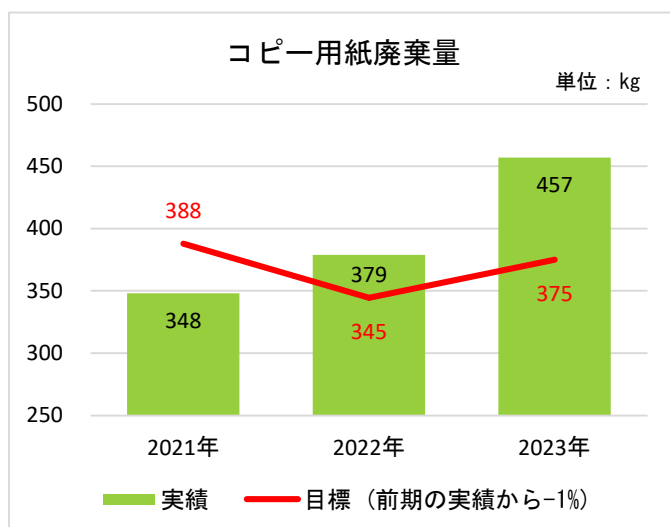
- ・ 使用済み用紙などの裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫する。
- ・ シュレッダーの使用を機密文書などに限り使用するよう努める。
- ・ 両面、集約などの機能を活用した印刷、コピーの徹底。



コピー用紙の廃棄量を
カレンダーに記入しています。
カレンダーはシュレッダー横に置き
日毎・月毎でどれだけ廃棄したかを
知ることが出来ます。

裏紙印刷がしやすいように
A4・A3 サイズに分けコピー機の
横に置いています。

☆ 結果及び評価



今期は前期と比べて20.6%の増加となり、目標を達成することが出来ませんでした。
裏紙印刷の活用は出来ていたものの、前期よりもミスプリントによる廃棄が多く感じられました。また年末の大掃除の際に大量に廃棄したので、このような大幅増になったと思われま

☆ 次期の目標・取組み

ミスプリントによる廃棄が多い為、“プレビューしてから印刷する”、“複数枚印刷する時には1枚印刷してミスがないか確認してから印刷する”ことを意識し、取り組んでもらえるよう呼びかけを行います。



取組み内容・結果及び評価(5)

3. 水使用量の削減



☆ 取組み内容

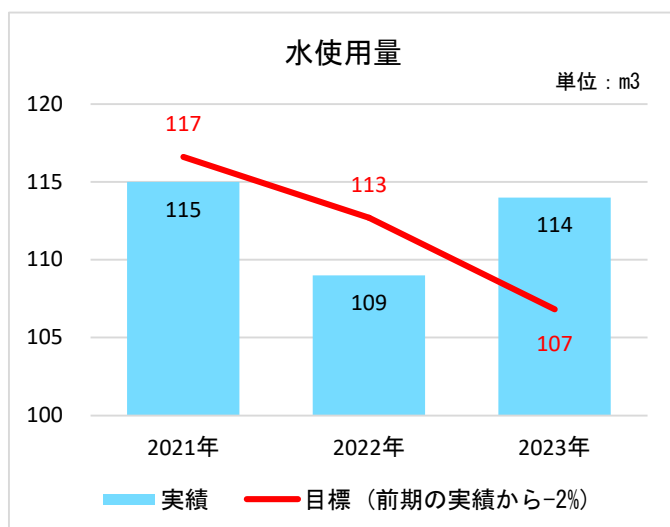
- ・ 節水の呼びかけ（ポスター掲示）。
- ・ 社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行する。
- ・ 蛇口など漏水の有無を確認する。



漏水や閉め忘れなどが無いよう環境事務局で確認しています。特にグリーンカーテンを実施する期間は水を使用する機会が増えるので気を付けています。



☆ 結果及び評価



前期より
4.6%の増加



達成ならず…

今期は前期と比べて4.6%の増加となり、目標を達成することが出来ませんでした。

前期と比べて多く使用した実感はないものの、日々の生活のほんの少しの使用量の増加がこの結果につながったのではないかと考えられます。再度節水を意識して取り組んでいこうと思います。

☆ 次期の目標・取組み

これまでの取組みを継続し、水を多く利用するグリーンカーテン実施時や洗車時には積極的に節水の呼びかけを行います。



取組み内容・結果及び評価(6)

4. 環境配慮と啓発活動の促進(会社周辺の清掃及び環境保全活動)

11 住み続けられるまちづくりを

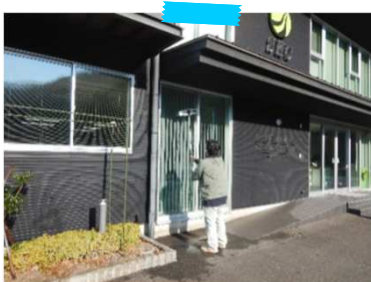


☆ 取組み内容

- ・ 年2回、社員全員で会社及び会社周辺の清掃。
- ・ 地域ボランティア活動への参加。

☆ 結果及び評価

❖ 会社及び会社周辺の清掃 ❖



❖ 錦川清掃 ❖



2023年10月7日 錦川清掃に参加しました。
昨年と比べるとゴミが少ないように感じました。この活動を通して少しでも街中の環境が良くなったのなら嬉しい限りです。

☆ 次期の目標・取組み

年2回の会社及び会社周辺の清掃はもちろん、社外ボランティアにも積極的に参加していきます。



取組み内容・結果及び評価(7)

その他(1)

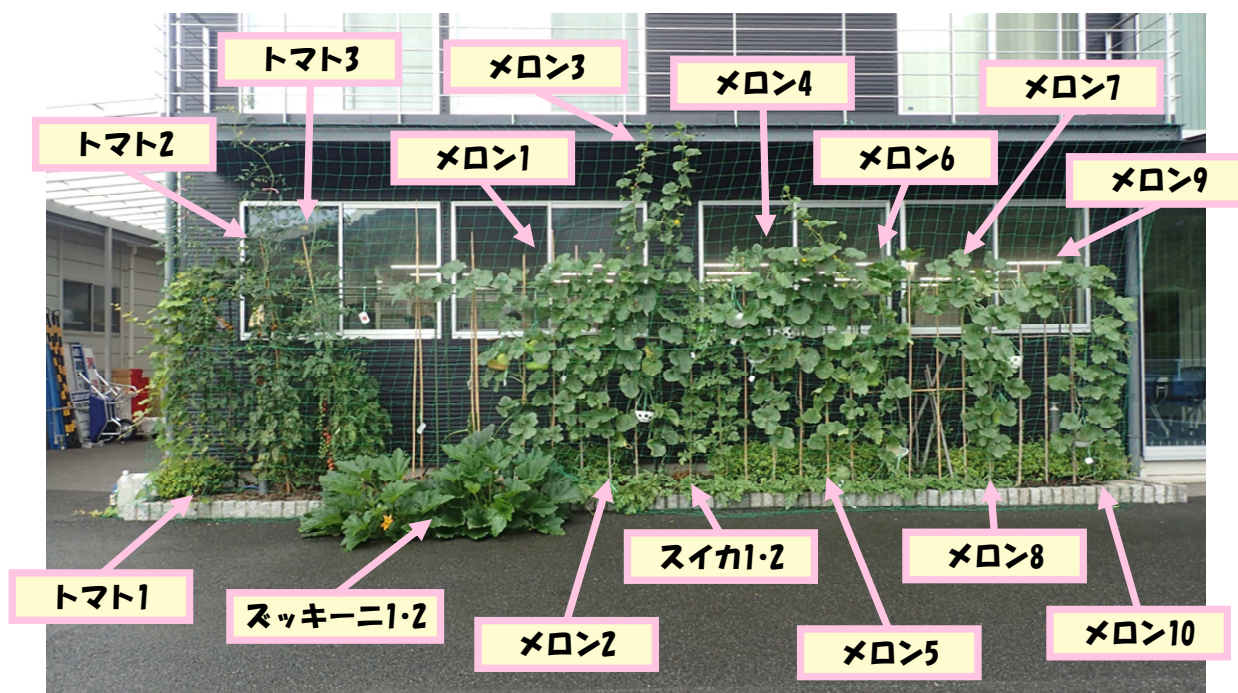


☆ 取組み内容

- ・ グリーンカーテンの実施。

☆ 結果及び評価

今期はミニトマト・メロン・スイカ・ズッキーニの4種類でグリーンカーテンを実施しました。
下の写真は2023年7月19日現在の様子です。それぞれの詳細については次頁以降に記載しています。



☆ ラインナップ ☆

トマト 1	こあまちゃん
トマト 2	プラムスイートレッド
トマト 3	薄皮ピンク
メロン 1・8	リゾート
メロン 2・4・6・10	フェリーチェ
メロン 3・5	タイガー
メロン 7・9	アポロ
スイカ 1・2	小玉スイカ
ズッキーニ 1・2	ダークヤングマン

今期は
4種9品種
育てました

メロン・スイカがご
準備中...



取組み内容・結果及び評価(7)

☆ ミニトマト ☆

こあまちゃん・プラムスイートレッド・薄皮ピンキーの全3品種。

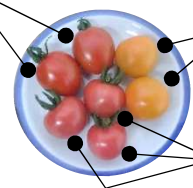
✦ トマト1 こあまちゃん…オレンジ系で丸型。

4月14日に植えました。5月中旬頃には実がつき始めました。
初収穫は6月23日で、甘さと酸味のバランスが取れたトマトでした。

トマト2

トマト1

トマト3



4月

5月

6月

7月

8月

✦ トマト2 プラムスイートレッド…濃桃色系でプラム型。

4月14日に植えました。3種の中で1番早く実がつき始めました。
6月23日が初収穫で、肉厚でしっかりとした食感でした。



4月

5月

6月

7月

8月

✦ トマト3 薄皮ピンキー…桃色系で丸型。

4月14日に植えました。5月下旬頃から実をつけ始め、支柱が傾くほど実りました。
初収穫は6月23日で、口当たりのよいトマトを大量に収穫することができました。



4月

5月

6月

7月

8月



〈環境推進委員会から一言〉



昨年に引き続き大豊作であった。社員にも好評で満足のいく結果となった。
大きく生長したので、カーテンとして十分な活躍をしてくれたと思う。



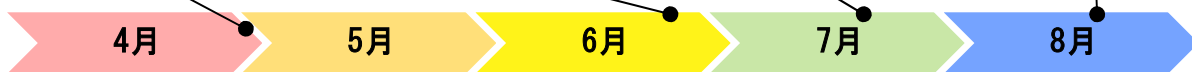
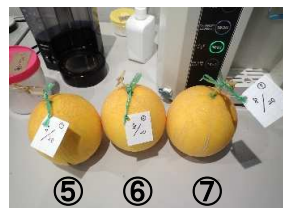
取組み内容・結果及び評価(7)

☆ メロン ☆

リゾート・フェリーチェ・タイガー・アポロの全4品種。
実がついた24個を識別するために番号をつけて管理しました。表は定植日から終了までを示したもので、青色は収穫できたもの、灰色は収穫できなかったものになっています。

❖メロン1・8 リゾート…網目のない黄皮メロン。

4月28日に植えました。6月上旬頃に花が咲き、下旬頃には実がつき始めました。
ひび割れにより雨水が侵入し腐食してしまったものもありましたが、3個収穫出来ました。



⑤	4/28	8/19
⑥	4/28	8/19
⑦	4/28	8/19
⑧	4/28	8/10
⑪	4/28	8/10
⑫	4/28	7/19



1番大きいものが1260g
でした。(メロン⑦)
(標準果重は800~900g)
少し大きくなりすぎましたが
程よい甘さで美味しかったです。

❖メロン2・4・6・10 フェリーチェ…果皮が灰緑色の高級感漂うネットメロン。

4月14日に植えました。6月上旬頃に花が咲き、中旬頃には実がつき始めました。
暑さで枯れたものもありましたが、5個収穫できました。1番大きいもので2028gもありました。



③	4/14	8/19
⑨	4/14	7/12
⑩	4/14	7/12
⑬	4/14	8/21
⑭	4/14	8/2
⑯	4/14	8/8
⑰	4/14	8/28
⑱	4/14	8/21



果肉が柔らかく、甘い♪



取組み内容・結果及び評価(7)

❖メロン3・5 タイガー…下方がやや膨らんだ形のものが多く、黄色に濃緑色の縦縞。
5月9日に植えました。6月下旬から7月上旬頃に花が咲き、中旬頃には実がつき始めました。
収穫時期が遅かった為、標準果重の350gをはるかに上回り、甘さも香りもいまいちでした。



⑱	5/9	8/19
⑳	5/9	8/16
㉑	5/9	8/16
㉒	5/9	8/28
㉓	5/9	8/25
㉔	5/9	8/30



❖メロン7・9 アポロ…黄色の果皮に淡赤橙色の果肉。
4月14日に植えました。5月下旬頃には花が咲き、6月上旬頃に実がつき始めました。
4種の中で1番早く生長していましたが、7月中旬頃には全て枯れてしまいました。
掘りおこすと根がなくなっていたことから、ネキリムシが原因ではないかと考えています。



①	4/14	7/13
②	4/14	7/13
④	4/14	7/18
⑮	4/14	7/18



未熟なメロンは
浅漬けにして食べました。
簡単に作れて美味しかったです。



〈環境推進委員会から一言〉



一度に4品種のメロンを育てたので判別するのが難しかった。
しかし、味比べをすることが出来て良かったと思う。
アポロに関しては、1個も完熟したものを収穫できなかったのが残念であった。



取組み内容・結果及び評価(7)

☆ スイカ ☆

小玉スイカの1品種。



♣スイカ1・2 小玉スイカ…普通のスイカの半分くらいの大きさのスイカ。

4月22日に植えました。6月上旬頃には花が咲き、中旬頃に実がつき始めました。

実がついた3個全てを収穫することはできましたが、内2個は葉が枯れたことで未熟な状態での収穫になりました。シャリシャリな食感で甘くて美味しかったです。



4月

5月

6月

7月

8月



〈環境推進委員会から一言〉



7月下旬の暑さにより枯れてしまったため、完熟したスイカは1個しか収穫できなかった。次期に取り組む際は、5個は収穫できるようにしたい。



☆ ズッキーニ ☆

ダークヤングマンの1品種。

油と相性の良いズッキーニをシンプルに炒め物にしました。

Stir-fried zucchini



♣ズッキーニ1・2 ダークヤングマン…うどんこ病になりにくい品種で黒緑色の円筒形。

4月22日に植えました。5月下旬頃には花が咲き、受粉作業を実施し始めました。

6月上旬頃から7月下旬頃まで収穫することが出来、2つの苗から計30個収穫できました。



4月

5月

6月

7月

8月



〈環境推進委員会から一言〉



今年初めて植えたが、思いのほか上手に育ち満足のいく結果となった。上向きに育てることが出来ずカーテンにならなかったことが残念。



取組み内容・結果及び評価(8)・(9)

その他(2)



☆ 取組み内容

- ・ 女性社員の産育休暇制度。

☆ 結果及び評価

弊社では女性活躍推進法に基づき、女性雇用環境の改善に力を入れています。働きやすい職場づくりとして産前産後休暇・育児休暇制度を取得できるようにしており、復帰後も育児短時間勤務制度等により職場復帰できる環境づくりをし、支援を行っています。現時点では取得した人数も少なく、女性社員のみとなっていますが、誰もが取得できる環境に整えるとともにこれらの制度について周知の理解が深まるよう情報を発信していけたらと思います。



〈 産育休暇を取得した女性社員の声 〉

産前産後休暇後、育児休暇を1年、復帰後は短時間勤務を1年間しました。退勤時間で帰れるように気にかけてくださったり、子供の急な発熱などで早退することも多いですが配慮・サポートして下さる環境に感謝しています。

その他(3)



☆ 取組み内容

- ・ 資格取得制度。

☆ 結果及び評価

近年、業務管理技術者だけではなく業務担当者にも資格が求められる業務が増えてきています。積極的に受験し、資格を取得してもらえよう資格試験や講習会についての情報の発信及び手配等、総務部が中心となって支援を行っています。また、モチベーションアップのために資格試験に合格した際には、報奨金授与を実施しています。

今期に取得した資格を赤字で示しています。次期でも多くの社員が受験し、資格を取得できるよう支援を継続していきます。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| ☆ 測量士 / 測量士補 | ☆ 技術士補 建設 / 上・下水道 / 森林 / 農業 |
| ☆ 技術士 応用理学 / 建設 | ☆ 1・2級土木 施工管理技士 |
| 上下水道 / 農業 | ☆ コンクリート技士 / 主任技士 / 診断士 |
| 総合技術監理 | ☆ 道路橋点検士 |
| ☆ RCCM 河川、砂防及び海岸・海洋 | ☆ 海洋・港湾構造物維持管理士 |
| 鋼構造及びコンクリート | ☆ 環境計量士 騒音・振動関係 |
| 施工計画、施工設備及び積算 | ☆ 地すべり防止工事士 / 地質調査技士 |
| 建設環境 / 地質 / 道路 | ☆ 補償業務管理士 |
| 土質及び基礎 / トンネル | ☆ 無人航空従事者1級 |
| 農業土木 | ☆ 河川点検士 |

おめでとう



取組み内容・結果及び評価 (10)

その他 (4)



☆ 取組み内容

- ・ 社内教育の実施。

☆ 結果及び評価

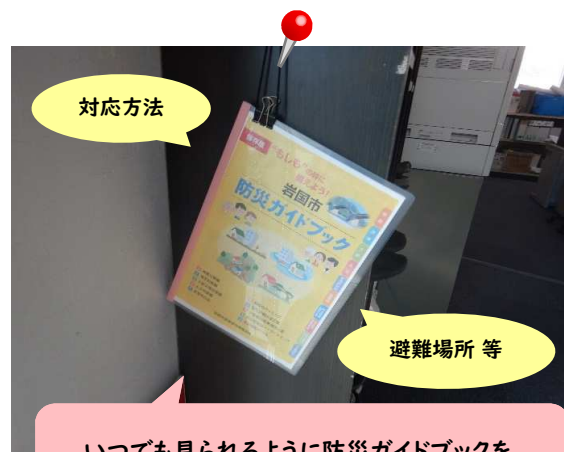
今期は、6月に地震に関する社内教育を行いました。

ゴールデンウィーク期間中に能登半島沖を震源とするマグニチュード6.5、最大震度6強の地震が発生しました。それ以降も全国各地で相次いで地震が発生しており、5月に発生した震度4以上の地震は17回も発生したそうです。これに伴い今後30年以内に70～80%の高い確率で発生する恐れのある南海トラフ地震についてメディアを通して知ることが増え、山口県でも大きな被害が想定されていることから今回の教育の題材として取り上げることにしました。

南海トラフ地震を想定した動画を視聴しました。あまりの規模の大きさに驚いたとともに、いつどこで発生するか分からない地震に対して、慌てず落ち着いた行動が出来るよう日頃から備えておくことが大事だと思いました。



南海トラフ地震を想定した動画を視聴中。
集中して観ています！



対応方法

避難場所等

いつでも見られるように防災ガイドブックを
下駄箱の横に掲示しています。



- ・ 使い捨て簡易ライト
- ・ 静音アルミポンチョ
- ・ 使い捨て携帯トイレ
- ・ 高速充電器マルチチャージャ
- ・ 発電機用ヒーターセット
- ・ ミニカセットコンロ
- ・ 長期保存水 etc

災害などが発生した場合に備えて
備蓄スタンドを装備しています。

環境活動計画、取組み状況及び評価

取組み目標及び活動項目	取組み状況	評価
1. 二酸化炭素総排出量の削減	実績：目標未達成（前期より2.8%増加）	
1-1. 電力使用量の削減	実績：目標達成（前期より5.7%減少）	
・ 社内の照明は休憩時間、残業時など不必要な時は消灯する。	不必要な時は消灯している。	○
・ 間引き照明の実施。	不必要な時は部分的な使用をしている。	○
・ OA機器を使わないときは、省電力モードか電源を切る。	帰宅時には電源を切るようにしている。	○
・ 使用していない部屋の空調を停止する。	使用していない部屋は空調を停止している。	○
1-2. ガソリン使用量の削減	実績（使用量）：目標未達成（前期より12.2%増加） 実績（燃費）：目標達成（前期と変化なし）	
・ オイル交換・車両点検の徹底。	各車両の管理責任者の下実施している。	○
・ 適切な時期でのタイヤ交換。	各車両の管理責任者の下実施している。	○
・ ガソリン給油量の把握。	給油時に給油量と総走行距離を記録している。	○
・ エコドライブなど運転方法の配慮を励行する。	ステッカーやポスターを掲示することでエコドライブを意識した運転を心がけている。	○
2. 廃棄物削減の促進（コピー用紙廃棄量）	実績：目標未達成（前期より20.6%増加）	
・ 使用済み用紙などの裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫する。	裏紙印刷がしやすいように整理し、活用するよう呼びかけを行っている。	○
・ シュレッダーの使用を機密文書などに限り使用するよう努める。	シュレッダーの近くにカレンダーを置き、日毎・月毎の廃棄量が分かるようにしている。	△
・ 両面、集約などの機能を活用した印刷、コピーの徹底。	これらの機能を活用するよう呼びかけを行っている。	△
3. 水使用量の削減	実績：目標未達成（前期より4.6%増加）	
・ 手洗い時、洗い物においては日常的に節水を励行する。	台所に節水のポスターを貼り、日頃から節水の意識をもつようにしている。	○
・ 社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行する。	洗車時には呼びかけを行っている。	○
・ 蛇口など漏水の有無を確認する。	環境事務局によるチェックを行っている。	○
4. 環境配慮と啓発活動の促進（会社周辺の清掃及び環境保全活動）	実績：目標達成（3回実施）	
・ 地域ボランティア活動などに積極的に参加し協力や支援を行う。	錦川清掃に参加している。	○
・ 敷地内の緑化活動。	グリーンカーテンを作成している。	○
・ 会社周りの定期清掃を実施する。	年2回（8・12月）の社内清掃に行っている。	○

※ 評価については、環境事務局で実施している環境活動計画表を基にしています。

（○ よく出来た △ あまり出来なかった × 出来なかった）

環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟の有無

法規等の名称	内容	評価
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の排出を抑制し、及び廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等整理し、並びに生活環境を清潔にすること ・ 生活環境の保全及び公衆衛生も向上を図る 	○
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働者の安全と衛生について 	○
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄車両の適正な処分 	○
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保守点検の実施 	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災の予防 	○
道路交通法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務遂行に伴う道路の使用の許可 ・ 事業活動上での安全運転管理の推進 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務用エアコン：全てに第一種特定機器が対象 ・ 自社での「簡易点検（3か月に1回以上、目視点検）」の実施 	○
測量法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業登録と配置 	○
河川法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計上での考慮すべき事項 	○

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

過去3年間、いずれの法規等においても関係諸機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありません。

代表取締役による評価と見直し

2023年は電力使用量、環境保全活動の項目は目標を達成することができましたが、ガソリン使用量、紙の排出量の項目は目標を達成することができませんでした。それに伴い、二酸化炭素総排出量の削減も目標を達成することができませんでした。

目標を達成できた項目の理由としては、エコアクションの活動内容や取組む各々の意識が根付いた結果だと実感します。

ガソリン使用量については、遠方の現場が例年より増加したため、必然的な結果であります。昨年各車両の燃費を記録しておりますが、燃費については目標設定値と変わらない良い結果となっております。現場によって左右されるガソリン使用量はあくまでも結果として捉え、燃費に着目することで次年度以降も取組むことにします。

紙の排出量においては、不要である過年度資料を大量に処分したため、目標値を大きく上回る結果となりました。紙の排出量削減の手段として、不要な印刷物をなくすためにデータによる資料共有やパソコン上で資料を閲覧することも考えられます。しかし、作成資料や成果物は基本的に印刷して紙面チェックすることがマストであり、これについては今後の課題となります。

エコアクション導入時から実施しているグリーンカーテンは、環境への配慮や節電の効果が期待されるため、今後も継続して取り組んでいきます。収穫した野菜や果物は従業員で頂いています。

今後も、社会情勢に柔軟に対応しながら地域社会に貢献する企業であるために、継続して全社員一丸となって取り組んでいきます。

代表取締役 石崎 智之